

天国への手紙

2021年7月11日放送分

おじさんへ

ラジオネーム…

今年も夏がやってきました。

この季節になると、おじさんの事をふと思い出します。

仕事柄、肌黒でがっしりとした体格だったおじさんは、

まさに健康的な夏の男という印象。

一方僕は、肌白のガリガリ。そんな僕に何故か声をかけてくれて
良く遊びに連れてってくれましたね。

その中でも一番楽しかったのは、海でのキャンプ。

寝床はボコボコ、トイレはブルーシート内に作った即席、

海が風呂代わりと、お世辞にも快適とは言えないキャンプでしたが、
なんとも言えない面白さがありました。

いつの時のキャンプだったでしょうか。

おじさんが、近所の子供たちを連れてきた事がありました。

話をした事が無い同士だったので、

最初はおっかなびっくりでしたが、同じ時間を過ごすうち、
いつの間にか打ち解けていました。

あの時出来た友達とは、今でも付き合っています。

今後休みを合わせて、キャンプに行く予定です。

おじさんという存在がいなければ、今頃僕はどうなっていたのか。たまたま考える事がありますが、今より良い自分は想像出来ません。

おじさんには色々とお世話になりました。

僕にとって父親みたいだった、おじさん。

生前には直接伝えられなかったけど、とても感謝していました。

本当に本当に、ごちもありがとうございます。

おじさんの好きだった曲をリクエストします。

へ ガラスのメモリーズ / TUBE く